本校授業のＵＤ化 その２　～「わかる・できる」を保障するために～

指導方法の工夫・・・やってきたことを意識的に！　やってなかったことを意欲的に！

Ⅲ　習得（身につける）しやすく

　　スパイラル化

算数科では毎時間，既習内容ふり返ってから，スタートします（3年）



その時には理解が難しくても，後からわかるチャンスが生まれます（3年）

　Ⅳ　活用（使う）しやすく



個別の配慮・・・グループ学習に入りやすく



「いっしょに考えよっ」友だちからのさりげない言葉で，入りやすく！

日常生活での実用に向けて～運動会を活かす～（１年・５年）



ペアやグループ構成にひと工夫することで，大きな支援となります

「困り」がある子どもへの指導方法の工夫・・・落ち着いて参加できるために

　Ⅵ　行ってよい場所・行く時の手続きを決める

併せて，席と席の間を空けると集中が高まりました（１年）



安全な場所に行けるという「保証」があれば，落ち着けます。

（画像は許可カード）

「安全コーナー」があれば，みんなといっしょ。いつでも戻れる（つい立がはずれました）

Ⅵ　席を入口から離す